

要介護認定一次判定ロジック見直しの主な経緯

○現行の要介護認定一次判定ロジックに関する課題

課題1 現行のものは平成13年のデータを使用

・対応方針:最新のデータに基づく一次判定ロジックの構築

課題2 現行は一次判定で「要介護1相当」と判定した上で、介護認定審査会の場で、「認知の具合」「状態の安定性」を基に判定されているが、これは煩雑な上に運用上のバラツキがある

・対応方針:コンピュータ判定による要支援2と要介護1の判別

課題3 調査項目が多く煩雑

・対応方針:認定調査の負担軽減の観点から精度が落ちないことを前提に調査項目の見直しを行う

○これまでの経過

